

# オットセイ 元気で

## 保護の成獣、銚子沖で放流

放流されたキタオットセイ。しばらく船の近くで泳いでいた。茨城県神栖市沖



月で11<sup>+</sup>回復したという。

いすみ市の海岸で衰弱して発見され、鴨川シーワールド（鴨川市）で保護されていたキタオットセイが30日、銚子市の北、茨城県神栖市沖に放流された。2月22日に保護された体長110センチの雌の成獣。体調を崩し群れからはぐれたとみられ、体重は当時31・9<sup>+</sup>だった。治療の結果、1カ

月で11<sup>+</sup>回復したという。30日は車で約3時間かけて銚子市の銚子マリーナに運ばれ、船で約20<sup>+</sup>離れた仲間がいたりみられる海域に放流された。船の近くにとどまっていたが、毛繕いを始めるなど元気な様子で、シーワールドの担当者が大丈夫と判断して船は現場を離れた。（福田祥史）